

(議長)

次に大門議員の発言を許可いたします。

「大門議員」

はい議長。

(議長)

大門議員。

「大門議員」

今回私は初めての質問になります。よろしくお願いいたします。

それでは質問させていただきます。

1 問目。幼児教育、保育の今後のあり方について質問いたします。

令和元年度ですなろ幼稚園が廃園となり、町内には江差幼稚園と町立の保育園が3園となります。少子化により幼児が減少する中、江差町における幼児教育、保育の今後のあり方について、現在どのような検討がなされているのか伺います。

また、日明保育園と水堀保育園の統廃合について、検討すると聞いていたが、現状について伺います。

(議長)

はい、町長。

「町長」

大門議員のご質問にお答えします。

まず初めに、幼児教育と保育に関するご質問にお答えいたします。

保育園や、失礼しました。幼稚園や保育園に関しまして、市町村が定める子ども子育て支援事業計画において、利用定員総数や教育、保育の量の見込み、教育、保育の提供体制等を規定することとされております。現在、町では来年度から始まる第2期江差町子ども子育て支援事業計画を策定するため、小学校以下の子がいる保護者を対象に実施したニーズ調査結果や人口推計結果、更にはこれまでの幼稚園、保育園の利用状況等を基に、子ども子育て会議での検討を進めているところでございますが、近年の保育所等の利用率の高まりや、幼児教育の無償化等を背景に、幼稚園保育園の入所者の大幅な落ち込みはないものと考えております。

続いて、日明保育園、水堀保育園に関してお答えいたします。

町では、北部保育園の管理に関する今後の方向性として、園児数の減少に伴う統廃合と多機能を加えた複合化を検討することとしております。現時点では両保育園の入所児童数

の推移や維持管理費、入所児童数に応じた保育士数等に関する分析を行っているほか、昨年度、小学生以下の子供がいる保護者を対象に実施したニーズ調査において、北部保育園の今後のあり方や立地設備面で重視すべき点について意向調査を行なったところ、2園のいずれかを新築し統合すると回答した割合が、約半数を占めたほか、立地条件として家からの距離や職場、通勤経路からの距離。設備面では清潔感や安全対策への関心が高い結果となりました。いずれにいたしましても人口の推移、地域や父母等の理解、更には財源対策等も含め、いつの時期に整備するのかを引き続き検討していきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(議長)

いいですか。

はい、大門議員。

「大門議員」

再質問いたします。

今、日明保育園と水堀保育園の統廃合についてですけれども、いずれ統合するとしてもですね、預ける親御さん達が不便にならないような立地条件等を検討して、統廃合していただければと思います。今のところ場所はどこにするとか、まだ計画段階で決まってははいませんか。

「町民福祉課長」

町民福祉課長。

(議長)

町民福祉課長。

「町民福祉課長」

はい、ただいまの水堀、日明両保育園の統廃合に関する、新たな設置場所に関するご質問にお答えいたします。

現時点におきましては、具体的にどの地区に統合する。もしくは、統合しないということも含めて、まだ検討している段階でございますので、具体的な候補地等についてはまだ明言できる段階ではございません。

ただ、議員ご指摘のように、保護者の方が不便にならない、それが立地的な、場所の問題とした時に、例えば送迎の問題であるとか、そういった部分の配慮は必要なことかなというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(議長)

いいですか。

「大門議員」

はい。

(議長)

2問目にいきますか。

「大門議員」

はい、2問目に。

(議長)

はい、大門議員。

「大門議員」

では2問目です。

日明保育園及び水堀保育園の老朽化に伴う安全性の確保について質問いたします。

両保育園については、築40年以上経っており、老朽化が進んでおります。園児の安全面について、町として現状をどのように把握し、その対応をどのように考えているのかお伺いいたします。

(議長)

町長。

「町長」

大門議員の2問目の日明保育園及び水堀保育園の安全性の確保に関するご質問にお答えいたします。

施設老朽化に伴う安全対策といたしましては、毎月開催している保育士との連絡会議において、施設や設備の確認をし、施設の計画的な維持補修に努めるとともに、突発的な事案に対しましても随時対応を図っているところでございます。

また、保育園におきましては、火災や地震を想定した避難訓練を毎月実施しているほか、災害等の非常時における入所児童や職員等の生命と安全を守るための防災マニュアルを策定し、安全性の確保に努めているところでございますので、ご理解願えればと思います。

(議長)

はい、大門議員。

「大門議員」

再質問です。

目に見えるところは老朽化の、まあ古くなってるところなんで修理とか、そういうので対応していると思いますが。築年数先ほど言った通り、40年以上経っているのです、先ほど町長も言っていたように、災害時、地震等がおきた場合、倒壊の恐れとか、そういうことがないのかどうかもちょっとお伺いしたいと思います。

(議長)

町民福祉課長。

「町民福祉課長」

施設の老朽化に伴う倒壊の恐れというご質問でございます。

具体的には私どもの方で、その施設の耐久度がどのようになっているのかという部分の調査をした経緯はございません。ただ、この地域において大規模な地震が発生した場合につきましては、まったくその、その程度にもよりますけども、施設のあり方といいますか、施設がどの程度維持できるのかという部分については、その状況に応じて検討していきながら考えてございます。

ただ、日常的な保育業務におきましては、目視であつたりだとか、また日常生活において気付いた部分については随時補修を加えながら、維持管理に努めておりますので、ご理解を頂ければと思います。

(議長)

答弁になってるのか。

いいですか。大門議員。

「大門議員」

再々質問です。

地震などの倒壊の恐れが分からないということであれば、万が一地震がきた場合倒壊し、中にある保育園児が怪我する場合もあるし、避難もできない状況になると思うので、それはちょっと早急に調べる必要があると思いますが、どうでしょうか。

「町民福祉課長」

町民福祉課長。

(議長)

町民福祉課長。

「町民福祉課長」

まず地震等の災害が起きた時の対策としまして、先ほど答弁させていただいておりますが、防災マニュアルということで定めてございます。例えば、地震に関してましては、揺れの状況に応じて、すぐ園内から避難をする。また、火災等においても同じように、その状況に応じて対応を図るというふうにしてございますので、まずは日常の保育業務の中で、危険を察知する。した場合においては、マニュアルに沿った避難。子どもの生命、職員の安全、生命を守るという対応を図ってまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(議長)

いいですか。

「大門議員」

はい分かりました。

(議長)

以上で、大門議員の一般質問を終わります。